

老後の生活費いくらかかるか計算したことはありますか？

老後の生活は何年間？

「老後」とは何歳からでしょう？ 例えば経済的な側面から見て、公的年金や退職金以外に準備した資金を生活費として使いはじめる年齢を老後生活の開始時期とした場合、何歳頃からと考えているのかを調査で見ると平均64.0歳となっています。

日本人の平均寿命は、男性が79.64歳、女性が86.39歳ですので、老後過ごす期間は15年～22年間(平均約20年間)となります。

最期の時を迎えるまでにお金をいくら使うのでしょうか？

高齢者世帯が実際に必要とする生活費は月額約27万円(総務省：平成17年家計調査)。また生命保険文化センターが行った「生活保障に関する調査(平成16年)」によると、ゆとりある老後を送るために必要な生活費は月額約38万円が必要といわれています。

月額38万円はかなり厳しい額です!!

人事院が一般的な国民の標準的な水準を求めるために算定した標準生活費は、二人暮らしの世帯で166,270円。「生活できればいい」というレベルならば、20万円以下でやっていくことも可能ということですが。

しかし、人生の4分の1を占める老後生活は思った以上に長い時間です。「求める理想の生活」は人それぞれ違うにしても、ゆとりある生活を楽しみたいですね。

老後の2人世帯の標準生活費

食料費	31,370円
住居関連費 水道光熱費、家具、 家事用品費などを含む	55,610円
被服・履物費	5,030円
雑費1 保健医療費、交通通信費 教育・教養娯楽費など	39,700円
雑費2 こづかい、交際費、諸雑費など	34,560円
合計	166,270円

ゆとりある老後を過ごすためには

夫婦二人で月30万円必要

生命保険文化センターが行った「平成16年生活保障に関する調査」によれば、経済的にゆとりのある老後を送るための費用として、老後の日常生活費以外に必要と考えるゆとりのための上乗せ額の平均は13.7万円。

つまり、生活費を標準生活費166,270円まできりつめれば、月30万円あればゆとりある老後を過ごすことができるわけです。

もちろん、お子さんとの世帯と同居なら必要資金は減らすことができますし、持ち家でなく借家の場合はこの金額に借家家賃を上乗せしなければなりません。

あなたの老後の生活の考えと支出の合計は？

あなたは老後のゆとり生活をどのように過ごしたいですか？			
<input type="checkbox"/> 夫婦で旅行	<input type="checkbox"/> 趣味	<input type="checkbox"/> ボランティア	円
<input type="checkbox"/> 田舎暮らし	<input type="checkbox"/> 海外移住	<input type="checkbox"/> 有料老人ホーム	円
ゆとり生活の予算は…			円

あなたの老後の居住形態は？			
<input type="checkbox"/> 子どもたちとは別に暮らす	<input type="checkbox"/> 子ども夫婦と同居	<input type="checkbox"/> 子ども夫婦の近所で暮らす	円
<input type="checkbox"/> 田舎暮らし	<input type="checkbox"/> 海外移住	<input type="checkbox"/> 有料老人ホーム	円
居住にかかる予算は…			円

最期の時を迎えるまでの支出は？			
食料費	月額	円	
住居関連費	月額	円	
被服・履物費	月額	円	
雑費1	月額	円	
雑費2	月額	円	
ゆとり生活費	月額	円	
月間生活費計	月計	円	×12 = 年間 <input type="text"/> 円
あなたは幾つまで生きてみますか？	年	×	<input type="text"/> 円

その他の支出			
<input type="checkbox"/> 市民税	<input type="checkbox"/> 固定資産税	<input type="checkbox"/> 事業税など	年額 円
<input type="checkbox"/> ローン			年額 円
その他の支出にかかる予算は…			円

あなたが考える 老後の生活費の費用は	円
-----------------------	---